

公益社団法人 宗像市シルバー人材センター
令和元年度事業報告

事業概要

今年2月の新型コロナウイルス感染症対応策が強化され、外出自粛、施設使用制限などの対策が実施されています。

このことで、市内公共施設の閉館、小中学校の休校や赤間駅駐車場の利用者の減少で、3月期の受託金額は大きく減少しました。

令和元年度の受注実績は契約額 355,558 千円（前年比 5,583 千円）の増加となり、受注状況は毎年順調に推移しています。3月期の大幅な減収があったものの、増額を確保しました。会員数は 605 人と、前年比 19 名の減となりました。入会率の上昇で入会者は 100 人と増加しましたが、退会者も前年から増加し、119 名となったことが要因となりました。また、入会者の平均年齢は 69 歳を超え、会員の高齢化が進んでいます。

最終年度となる第二次経営計画（3カ年）は、目標とした契約額は達成しましたが、会員確保は未達成となりました。高齢者を取り巻く労働環境の変化、会員の多様な就業希望と提供する職種とのマッチング、発注者が求める人材の確保等に課題が残りました。

次に事業の収益は前年比 2,157 千円と増加しましたが、費用も材料費、赤間駅指定管理費の増加で、5,498 千円の超過となりました。河東処分仮置き場の利用料の見直しのほか、会員の直接搬入の推進等、新たな処分方法で収支の改善を図ります。赤間駅指定管理業務においては、今後も需要が見込まれる利用券の販売促進や、施設維持費の削減で収支の改善を図ります。

また、市が進める高齢者在宅支援となる家事援助事業は受注件数と受注額とも前年度からさらに増加しました。しかし、従事する女性会員の確保が進まず、その対策を急ぐ結果となりました。

派遣事業は順調に増加しました。

最後に「安全はすべてに優先する。」とするシルバーの基幹である安全就業対策では、事故件数は 15 件と最大となりました。平成 28 年度に 14 件と事故が多発したことから、その年に「安全・適正就業対策基本計画」を策定し、その対策を講じた結果、30 年度に 4 件にまで抑制できました。

このことで県内優良事業所として表彰を受けたところですが、再び振り出しに戻る結果となりました。

このことで、安全委員会の事故検証結果から、新たな安全対策計画が策定されました。今後、この計画を確実に実行することで、事故抑制を図ります。

令和元年度実績

受注件数	3,244件	(210件の減)
契約金額	355,558千円	(5,583千円の増)
就業実人員	560人	(20人の減)
会員数	605人	(19人の減)

()内は平成30年度実績との比較

(事業実績)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援事業（公益目的事業）

1 就業機会提供等事業

(1) 受託事業（一般）

受託事業は屋外作業会員の高齢化で会員の減少が進むなか、駐輪場や施設管理等の屋内管理作業を希望する会員が増加している。また、急増する家事援助事業に従事する女性会員の確保が急務となったことから、センターが行う受託内容の周知や事業所への就業開拓活動と併せて、入会希望者への個別相談を行うことで入会機会の充実を図りました。

① 就業開拓

- ・公式ホームページの活用で、シルバーの情報提供の拡充を図った。
- ・会員による就業案内パンフレットを一般家庭に4200枚を配布した。また、定期的に民間事業所や公共団体等を訪問し、就業開拓を行った。

② 就業機会の拡大

- ・入会説明会をセンターの他、河東、東郷コミセンで月2回開催するなど、引き続き説明会の受講機会の充実を図った。
- ・入会希望者には、説明会後の個別相談を実施し、就業の理解を深めた。また会員から「一人一会員入会」の勧誘を行った。
- ・各種広告紙の活用やホームページによるセンター情報の発信を行った。
- ・グループ就業やローテーション就業を実施し、就業機会の拡大を図った。

令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
492人	52,720人日	87.7%	268,016千円

(2) 受託事業（業務委託）

宗像市指定管理者制度の赤間駅北口・南口自転車等駐車場及び自動車駐

車場の運営管理を実施した。

運営は自転車等の適正管理の他、利用者の利便性を図るため、駅周辺事業所に駐車場の一時利用券の利用を促進するため、新たに 500 円券を発行した。

また、赤間駅周辺の清掃活動を定期的実施し、地域貢献に寄与した。

令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
56 人	4,165 人日	100%	49,208 千円

(3) 独自事業

会員の知識・経験・能力を生かした独自の創意と工夫により、次の事業を実施した。

① 週 2 回、会員 6 名を講師として、習熟度に応じたパソコン教室を開催した。全 15 講座を開催し、延 109 人が受講した。

② 古着等を活用した小物作品を販売した。

令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
8 人	357 人日	100%	589 千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就職を斡旋する。また、求人・就職の取り扱いについては、職業安定機関と連携し、雇用情報の収集、情報交換を行った。

2 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員に対し、就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援を行った。

① 派遣先開拓

民間事業所、公共団体からの受注促進を積極的に図るため、事業所訪問活動を実施し、センターの情報提供を行なった。

② 就業機会の拡大

事業所訪問を行い、就業情報の収集を行なった。また、派遣労働を希望する会員とマッチングを行い、就業機会の拡大を図った。

令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
126 人	10,778 日	100%	37,745 千円

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 会報「シルバー宗像」を3月と8月の年2回発行し、会員や市民への活動内容の情報提供を行った。
- ② 入会説明会案内チラシを職員と会員で4,200枚を各戸に配布した。
- ③ ホームページで入会に関する情報や求人情報の発信を行った。
- ④ 市の広報紙や市内コミセン会報紙5ヶ所に入会案内広告を掲載した。

(2) 社会参加活動・ボランティア活動の参加

- ① 花いっぱい運動に参加し、センター内の花壇に花を植栽した。
- ② 河川愛護活動として釣川クリーン作戦に参加した。
- ③ さつき松原アダプト・プログラム等に参加（年2回）
さつき松原内の割り当て区域（3,800㎡）の下草刈り活動に延べ48人が参加して、松木の育成活動を行った。
- ④ 松原再生プロジェクト事業（松林内の枯れ木拾い）に参加し、松林の再生を図った。

(3) 地域交流活動

地域班による地域イベント、清掃活動などへ参加した。

職群班による赤間駅周辺の子供会館清掃活動を年4回実施し、延べ66人が参加した。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

「安全は全てに優先する」を合言葉に、安全・適正就業委員会において、令和元年度の安全就業対策計画に基づいて、安全・適正就業に取り組んだ。

が、結果として15件の事故が発生した。その内、重篤につながる傷害事故3件と、前年度の計4件から急増した。

このことから、安全委員会において事故の検証を行い、新たな安全就業対策計画を策定した。

① 全ての会員に安全意識浸透の徹底

令和元年度安全・適正就業実施計画に定める安全対策を、職群班会議等を通して、各班で取り組んだ。

② 作業別安全就業基準の遵守の徹底

事故「ゼロ」を目標に安全適正就業の強化に取り組んだ。特に、安全パトロールを通じて、現場の事前確認、始業前ミーティング、保護帽子の着用や使用器具点検を実施した。

③ 委員会による安全パトロールの実施

安全・適正就業委員による現場パトロールを6回実施した。

④ 安全就業促進大会等に参加して、安全就業に対する啓発を行った。

(2) 適正就業の徹底

① 適正就業推進規程に基づく就業について、委託契約書に定める内容の確認を、事業所訪問や会員からの聞き取り等を行うことで、適正化を図った。

② 毎月の出勤シフト表等で適正基準内就業（月10日、80時間、週20時間）の確認を行った。

③ 労働者派遣事業の適正就業については、就業先の訪問等で確認した。

④ 適正就業推進規程に基づく就業調整として、公開募集を年2回実施した。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び地域の高齢者を対象に、随時、来訪や電話等により就業相談を実施した。

(2) 入会説明会の開催

入会希望者を対象にセンターの他、河東、東郷コミセンで毎月2回開催した。同時に、出席者に対して個別に相談時間を設けて、理解を深めた。

また、開催日時はチラシや市広報紙、ホームページ等で周知を図った。

4 研修・講習事業

(1) 職場内での課題と解決策をテーマに会員自らが研修を行なった。

(2) 職員の資質の向上を図るため、専門研修を中心に計3回参加した。